

# 市展

## 第19回亀山市美術展目録

会 期 令和6年3月11日(月)~3月17日(日)  
午前10時~午後5時(最終日は午後3時まで)

会 場 亀山市文化会館大ホールロビー  
亀山市中央コミュニティセンター

主 催 亀山市  
後 援 亀山市芸術文化協会、公益財団法人岡田文化財団  
協 力 公益財団法人亀山市地域社会振興会



# 目次

## ○入賞作品紹介・審査評

絵画	1
写真	3
書	5
彫刻・工芸	7
○特別出展	9
○いが・こうか・かめやま 美術展交流作品	10
○出展作品一覧	12
○第19回亀山市美術展について	16

○入賞作品紹介・審査評

絵画



市長賞 「ゆくえ知れずの鳥たち」 近澤 さとみ



議長賞 「遥かなる-屋久杉-」 小池 勇



教育長賞 「京の秋」 竹井 美智子



芸術文化協会会長賞  
「シュロのある風景」松田 純一



岡田文化財団賞  
「麗しの君」豊田 志乃

#### 審査評

コロナ以降、世界は激変しました。戦争や災害、外に目を向け自らの行動を考えないわけにはいきません。絵画はどうでしょうか。内外の諸問題に直面する中、ひとしづくの水のゆらぎに癒しや美の喜びがあるとは言うものの、内向きになりすぎてはいないでしょうか。

自分の持ち味を生かすモチーフは何かと考え、制作した作品の魅力を語れるように、構図・色・表現を工夫してみてください。

どの作品も力作であったように思います。これからも、創作活動を続け、出品していただければと思います。

市長賞の「ゆくえ知れずの鳥たち」は、潔く白黒のモノトーンで、ハーフトーンを鉛筆で美しく描いています。日常の何気なさを詩のように瑞々しく描いていて、日々を大切に、豊かな感受性で受け止めつつ、絵画に昇華されていると思います。

議長賞の「遥かなる-屋久杉-」は、杉の強い生命力を感じさせる作品です。左上の枝の色に一考を。

教育長賞の「京の秋」は、京都の情感ある風情が感じられる秀作です。

芸術文化協会会長賞の「シュロのある風景」は、シュロのある森が、豊かな緑の色彩で表現されています。

岡田文化財団賞の「麗しの君」は、大きな獲物を釣り上げた誇らしげな喜びが画面いっぱいに表現されています。

絵画部門審査員 伊藤 龍彦 川村 隆夫 山崎 和夫



# 写真



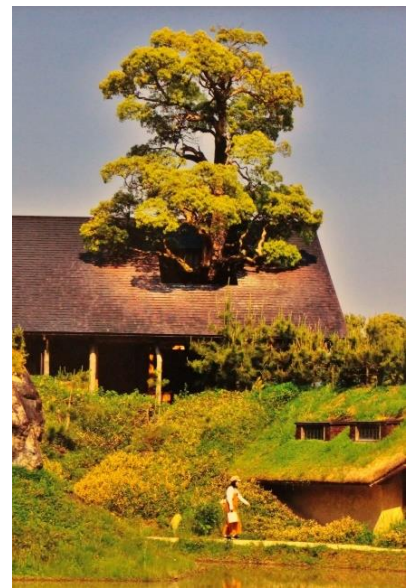
市長賞

「武田農場」豊田 康文



議長賞

「子育て」山川 充子



教育長賞

「光景」笠井 俊夫



芸術文化協会会長賞  
「ファミリー」西村 幸子



岡田文化財団賞  
「次の役目へ」小林 努

#### 審査評

出品数は前回とほぼ同じですが、内容はバラエティーに富み、単写真、組写真、カラー、モノクロと幅広い作品が見られました。また、日頃のシャッターチャンスを手早く捉えられていたと思います。今後も、作者の個性豊かな作品表現を期待します。

市長賞の「武田農場」は、生活感が表現されています。全体をモノトーンに表現したことも成功しており、組写真として、人物がよく効いています。

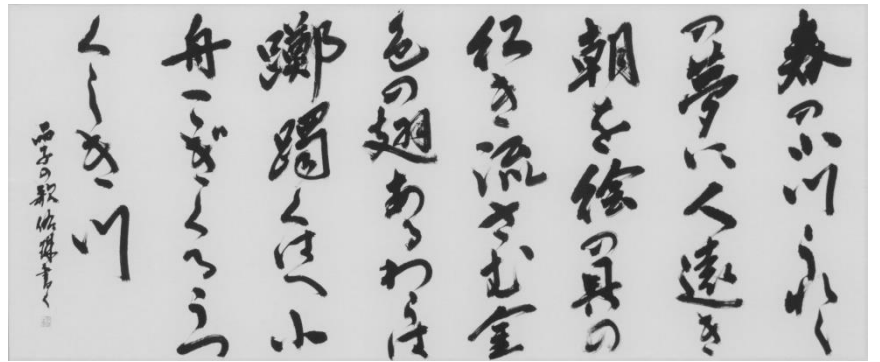
議長賞の「子育て」は、構図が素晴らしく、鳥の親子関係が印象的です。

教育長賞の「光景」は、屋根に樹のある家と点景の人物の配置が巧みな作品です。

芸術文化協会会長賞の「ファミリー」は、家族の幸福に満ちた表情と動きが素晴らしい作品です。

岡田文化財団賞の「次の役目へ」は、撮影技術の高さと狙いを表現する感性が、とても魅力的な作品です。

写真部門審査員 石井 清 中西 一夫 木村 一成



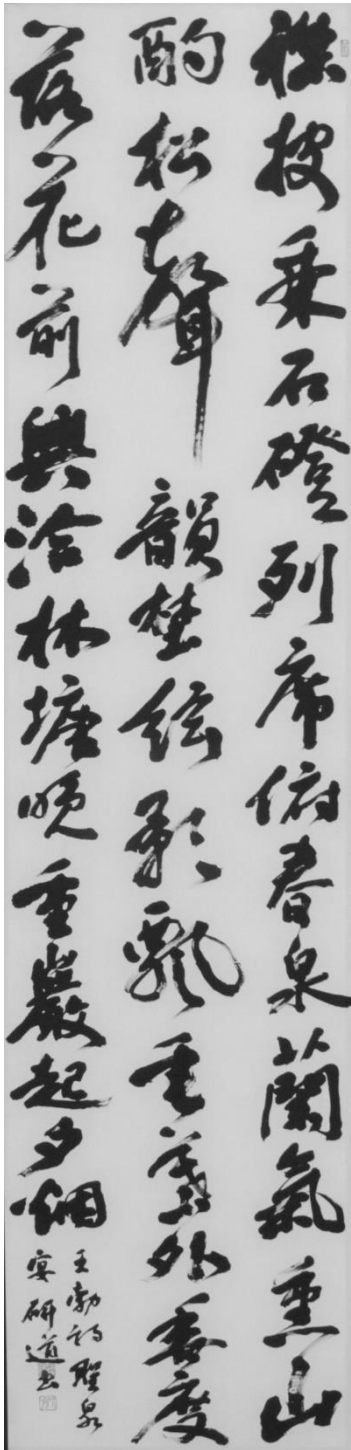
議長賞

「与謝野晶子の歌」 安藤 佑珠



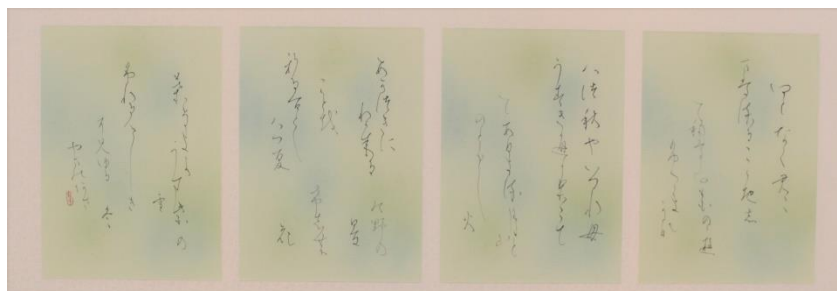
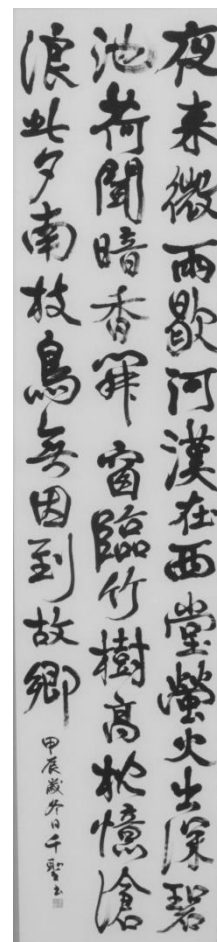
教育長賞 「劉祁詩」 岡田 静嶺

市長賞 「王勃詩」 阿久津 研道





岡田文化財団賞 「王士禎詩」 黒宮 千聖



芸術文化協会会長賞  
「晶子の歌」 櫻井 育子

#### 審査評

出品数は昨年度より若干減りはしましたが、内容の豊かな作品が多く見られ、見応えがありました。書は古典を原点とし、また、文学を媒体とするため、ある程度の学問的な学びが必要とされています。その意味では従来からある作風とは違った作品もあり、今後の市展への希望と期待を感じることができました。書道は無形文化遺産への提案が決定しており、世界への情報発信がされようとしています。書を愛する者たち皆で伝え、継承していきたいと願っています。

市長賞の「王勃詩」は、墨量が多く、余白がよく効いています。一字の広がりもあり、中心に見せ場を作り、視覚に迫る作品です。

議長賞の「与謝野晶子の歌」は、漢字と仮名の調和が工夫され、熟練した筆使いの感じられる秀作です。

教育長賞の「劉祁詩」は、縦長の文字を随所に配置することで、伸びやかな作品となっています。

芸術文化協会会長賞の「晶子の歌」は、日々の鍛錬の成果がうかがえ、優美な雰囲気を感じられる素晴らしい作品です。

岡田文化財団賞の「王士禎詩」は、康有為の技法を基盤に、今までに見ない斬新な作風で書かれた作品です。

書部門審査員 樋口 鈴峰 伊藤 南邨 納所 佳泉

彫刻・工芸



市長賞  
「そこに」山田 風雅



議長賞  
「春の音」小坂 洋子



教育長賞  
「鬼のかご」梅村 美奈子



芸術文化協会会長賞  
「焼締め叩き」近藤 義則



岡田文化財団賞  
「黒釉欠け花生」田所 正敏

#### 審査評

出品点数が少ないと思いました。作者が制作を楽しんでいることは伝わりますが、もう少し「用と美」を追求し、ただの真似ではなく創意工夫があれば、なお良いと思います。

徒弟制度がなくなった現在は、目標とする師匠や先生を自由に選んで、技術や姿勢を学んでください。

亀山市は、文化芸術への意識が高い地域ですので、さらに立派な作品が作られることを期待します。

市長賞の「そこに」は、見る人を引き付けます。量塊としての存在感と表現の確かさがあり、楽しい作品です。次の作品も期待したいと思います。

議長賞の「春の音」は、青と白の丸い作品がリズムカルに並んでいるところが、面白い作品です。

教育長賞の「鬼のかご」は、タイトル通り力強いかごの作品です。

芸術文化協会会長賞の「焼締め叩き」は、叩き技法を使ったエンボス感ある作品は、力強く独特の雰囲気を持っています。

岡田文化財団賞の「黒釉欠け花生」は、黒釉の変形花器の形が面白い作品です。もう少し大きな作品への挑戦に期待します。

彫刻・工芸部門審査員 恒岡 光興 上原 正廣 熊本 栄司

## ○特別出展



「ボンタンちゃん」

中村 晋也（亀山市名誉市民）

制作 平成4（1992）年 特別協力 公益財団法人中村晋也美術館

「ネルの着物を着る季節は、女の子のいちばん匂いのするときである。二本の素足が冷たそうに涼しく見えます」、室生犀星は「ザポンの実る木のもとに」という短編小説の中で、かわいらしい少女「ふち子」を、そう表現しました。少女は故郷の鹿兒島に帰ることになります。主人公の寂しい心境を想い、ボンタンの詩を綴っています。この少女をモデルに、中村の少女像「ボンタンちゃん」が生まれました。腰掛けた少女は、ネルの着物から二本の足をぶらぶらさせて遠くを見つめ、何を思っているのでしょうか。

（提供 公益財団法人中村晋也美術館）

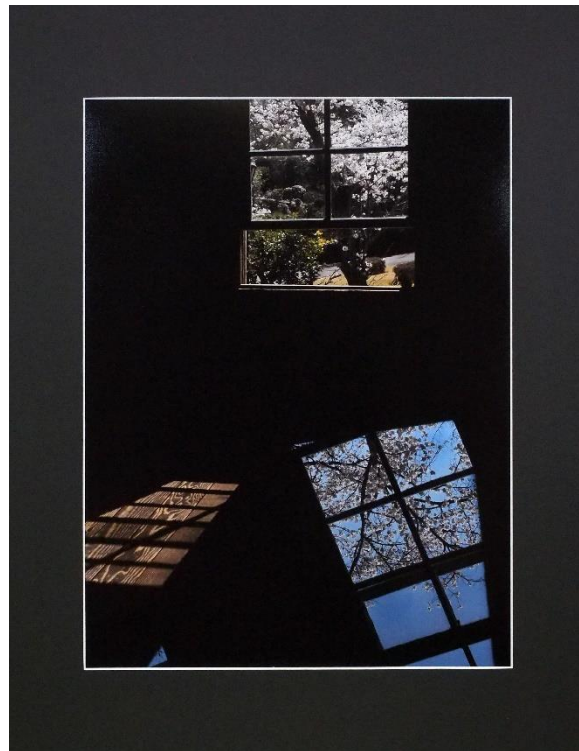


○いが・こうか・かめやま 美術展交流作品

(伊賀市)



市展「いが」賞 絵画部門  
古代からの伝言 森岡 達生



市展「いが」賞 写真部門  
学び舎に春 中森 晴子



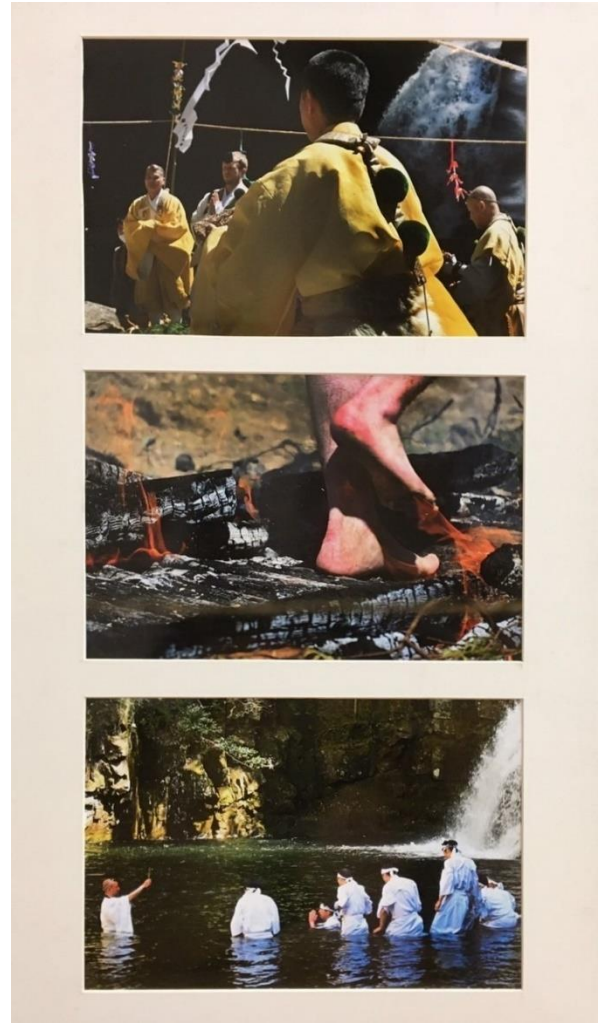
市展「いが」賞 彫塑工芸部門  
深淵 坂口 弘三



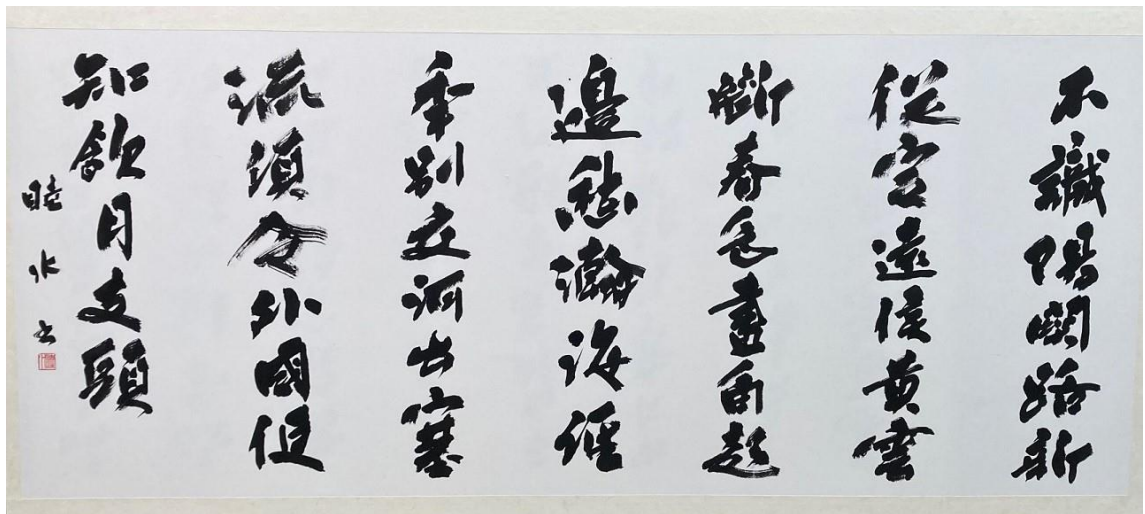
(甲賀市)



甲賀市展賞 平面部門  
トスカーナの娘 大原 健



甲賀市展賞 写真部門  
平和への祈り 前野 美恵子



甲賀市展賞 書部門  
王維詩 墨田 睦水

# ○出展作品一覧

## 【絵画部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	近澤 さとみ	ゆくえ知れずの鳥たち	関町萩原
議長賞	小池 勇	遙かなる-屋久杉-	本町三丁目
教育長賞	竹井 美智子	「京の秋」	みずほ台
芸術文化協会会長賞	松田 純一	シュロのある風景	野村三丁目
岡田文化財団賞	豊田 志乃	麗しの君	阿野田町
奨励賞	今田 雪峰	愛車洗車	鈴鹿市
入選	小坂 誠二	祝花	布気町
入選	常恒 正勝	和み	天神三丁目
入選	原 君子	椿	田村町
入選	生駒 清子	雨音	羽若町
入選	曾和 亜紀	モリと時間泥棒	布気町
入選	名越 悦子	天空への架け橋	栄町
入選	片岡 弘子	夢の中の香り	関町泉ヶ丘
入選	片岡 翠峰	哀愁の旅	関町泉ヶ丘
入選	林 正夫	cool JAPAN	アイリス町
入選	竹尾 千寿子	蓮池	野村三丁目
入選	坂 裕文	おーい、魚	東台町
入選	石谷 長生	合掌	東御幸町
入選	松尾 徳昌	継ぐいのち	下庄町
入選	長廻 武志	紅葉	伊勢市
入選	中西 勝	三段壁	野村一丁目
入選	田中 香	さざんかの咲く庭	辺法寺町
入選	所 啓子	笑い仏(石仏)	上野町
入選	那須 幸生	ガラス越しに	野村三丁目
入選	村田 円莉子	秋(NO.1)	両尾町
入選	伊藤 和美	浄瑠璃寺	本町二丁目
入選	森 有理子	element	東御幸町
入選	橘 喜代美	雪林	鈴鹿市
入選	水谷 和則	晩秋の鐘楼・泰運寺	関町小野
入選	斎藤 政子	水族館の珊瑚礁	鈴鹿市
入選	原 さだ代	畑の恵	田村町
無鑑査	日當 優子	山の上の引退ポスト	みずほ台
審査員	伊藤 龍彦	※題名はありません。	三重郡菰野町
審査員	川村 隆夫	スプリット旧市街	四日市市
審査員	山崎 和夫	黒猫	鈴鹿市
運営委員	中田 勝彦	鶏	南野町

## 【写真部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	豊田 康文	武田農場	菅内町
議長賞	山川 充子	子育て	鈴鹿市
教育長賞	笠井 俊夫	光景	関町坂下
芸術文化協会会長賞	西村 幸子	ファミリー	井田川町
岡田文化財団賞	小林 努	次の役目へ	北町
奨励賞	伊藤 隆彦	残雪	鈴鹿市
入選	佐野 昌之	日常	小川町
入選	池山 康夫	猛暑の夏	津市
入選	小野 俊男	途上	本町三丁目
入選	藤村 和昌	極北の街	みずほ台
入選	井上 英勝	強風のいたずら	太岡寺町
入選	櫻井 信也	林道探訪	天神一丁目
入選	伊藤 隆	伝統の舞	菅内町
入選	阿部 充博	泥んこ点描	みずほ台
入選	滝本 麻須美	街は眠らない	関町坂下
入選	滝本 洋一	光る大阪湾	関町坂下
入選	谷口 初太郎	童の散歩道	住山町
入選	森崎 進	無病息災	加太向井
入選	早川 新一	Family	みずほ台
入選	酒井 千紗都	いつまでも	三寺町
無鑑査	井上 アヤ子	早朝	みどり町
無鑑査	村田 芳男	暮秋	関町新所
審査員	石井 清	座禅	伊勢市
審査員	中西 一夫	躍動	鈴鹿市
審査員	木村 一成	ひかりさす	岐阜県可児市
運営委員	平野 武	ビルの谷間	椿世町

## 【書部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	阿久津 研道	王勃詩	辺法寺町
議長賞	安藤 佑珠	与謝野晶子の歌	椿世町
教育長賞	岡田 静嶺	劉祁詩	津市
芸術文化協会会長賞	櫻井 育子	晶子の歌	本町二丁目
岡田文化財団賞	黒宮 千聖	王士禎詩	北山町
奨励賞	伊藤 隼子	奥の細道より	江ヶ室一丁目
入選	櫻井 花筵	中峰	井尻町
入選	川上 春琴	元稹詩	菅内町
入選	森本 春香	杜甫詩	津市
入選	竹井 寶山	山居即事 王維詩	みずほ台
入選	平田 英也	吾唯足知	野村一丁目
入選	高橋 慶水	立原道造の詩	みどり町
入選	菅生 洋子	君に捧げる応援歌の歌詞	アイリス町
入選	篠原 蕙風	朱熹詩	下庄町
入選	江藤 千穂	与謝野晶子の歌	川崎町
入選	薦 皓月	柳宗元詩	鈴鹿市
入選	阿久津 清弧	張説詩	辺法寺町
無鑑査	竹田 清章	趙世昌	栄町
無鑑査	畑中 花影	聞一以知十	椿世町
無鑑査	堀田 花	万葉の歌	東丸町
審査員	樋口 鈴峰	登竜門	鈴鹿市
審査員	伊藤 南邨	元好問詩	桑名市
審査員	納所 佳泉	心中無一事	度会郡玉城町
運営委員	安藤 清舟	王勃詩	みどり町

## 【彫刻・工芸部門】

(敬称略)

入賞・選名	作者名	題名	住所
市長賞	山田 風雅	そこに	天神二丁目
議長賞	小坂 洋子	春の音	布気町
教育長賞	梅村 美奈子	鬼のかご	鈴鹿市
芸術文化協会会長賞	近藤 義則	焼締め叩き	みどり町
岡田文化財団賞	田所 正敏	黒釉欠け花生	関が丘
奨励賞	古川 宏	伊賀茶ワン	愛知県名古屋
入選	西川 るみ子	孫の成長の兜	川合町
入選	豊田 智代子	焼締め花入れ	加太板屋
入選	堀川 峰男	やぶれ花入	鈴鹿市
入選	坂本 祥子	ぬくもり	みずほ台
入選	井上 一男	茶碗	阿野田町
入選	水谷 敏子	ウェディングブーケ 幸せを願って	関町小野
入選	渡辺 香里	牧野博士と植物図鑑	和田町
審査員	恒岡 光興	伊賀広口壺	伊賀市
審査員	上原 正廣	さあー、行くよ	鈴鹿市
審査員	熊本 栄司	金彩色絵三つ巴大皿	四日市市
運営委員	後藤 正博	迷える独裁者の好きな花入れ	東御幸町

## 伊賀市

(敬称略)

賞名	作者名	題名	住所
市展「いが」賞 絵画部門	森岡 達生	古代からの伝言	伊賀市
市展「いが」賞 写真部門	中森 晴子	学び舎に春	伊賀市
市展「いが」賞 彫塑工芸部門	坂口 弘三	深淵	伊賀市

## 甲賀市

(敬称略)

賞名	作者名	題名	住所
甲賀市展賞 平面部門	大原 健	トスカーナの娘	甲賀市
甲賀市展賞 写真部門	前野 美恵子	平和への祈り	甲賀市
甲賀市展賞 書部門	墨田 睦水	王維詩	甲賀市



# ○第 19 回亀山市美術展について

## ≪出展状況≫

部 門	出品数	展示作品数						合計
		入選	無鑑査	審査員	特別出展	美術展 交流	運営委員	
絵 画	31	31	1	3	0	2	1	38
写 真	20	20	2	3	0	2	1	28
書	17	17	3	3	0	1	1	25
彫刻・工芸	13	13	0	3	1	1	1	19
合 計	81	81	6	12	1	6	4	110

※ 第 2 回亀山市美術展以降、同部門で市長賞を 2 回受賞された方は 5 年間無鑑査となります。

※ 彫刻・工芸部門には、第 9 回亀山市美術展より陶芸を含みます。

※ 入選者数に、入賞者数（奨励賞を含む 6 賞）を含みます。

## ≪審査員及び運営委員≫

### 審 査 員

【 絵 画 部 門 】 伊藤龍彦・川村隆夫・山崎和夫

【 写 真 部 門 】 石井 清・中西一夫・木村一成

【 書 部 門 】 樋口鈴峰・伊藤南邨・納所佳泉

【彫刻・工芸部門】 恒岡光興・上原正廣・熊本栄司

### 運 営 委 員

【 絵 画 部 門 】 中田勝彦

【 写 真 部 門 】 平野 武

【 書 部 門 】 安藤清舟

【彫刻・工芸部門】 後藤正博

※目録氏名は敬称を略しました。

